

PAJ News Letter

一般社団法人 日本パラリンピアンズ協会 の活動をご報告します

Vol.01
2012年2月発行

ロンドンパラリンピックの開催迫る 日本選手団の活躍で、日本を元気に！

2011年のPAJ(一般社団法人日本パラリンピアンズ協会)の活動の様子をPAJニュースレターとしてお届けします。

東日本大震災という未曾有の大災害を経験した我が国にとって、スポーツの力を再確認した1年でもありました。2012年はロンドンパラリンピックが8月29日から9月9日まで開催されます。日本選手団の活躍が被災地だけでなく日本中に元気と勇気を届けることになるようPAJとしても応援していきます。

【1】東京都障害者スポーツ協会からの委託事業

パラリンピアンによる学校での講演会活動

東京都の小中学校・特別支援学校の児童生徒を対象としてパラリンピアンが学校を訪問し、自分自身の体験を語り、パラリンピックの意義やスポーツの魅力について理解を深めてもらう事業を行なっています。今年度は都内の小学校1校、中学校2校で講演会を実施、講師として会員の鈴木孝幸(水泳)、理事の佐藤真

海(陸上)、副会長の大日方邦子(アルペンスキー)を派遣しました。

パラリンピックの知名度向上、スポーツ振興、共生社会の創造など、パラリンピアンには様々なメッセージを発信する力があり、その役割は小さくありません。皆さんも身近な場面でこうした活動を続けていると思います。会員の皆さんには

引き続き、PAJからの講師依頼にご協力をお願いいたします。



【2】震災関連支援活動

街頭募金・被災地訪問

5月28日(日)、『松屋銀座』のご協力のもと、東京都中央区銀座の同店正面玄関前で、東日本大震災で被災した障害のあるアスリートなどへの支援を目的とした街頭募金活動を行ないました。当日は10名の会員パラリンピアンと約30名のボランティアスタッフが参加し、4時間にわたって街頭で支援を訴えました。あいにくの雨模様にもかかわらず、多くの方々からの賛同を得ることができ、

301,506円の募金を頂きました。各理事がそれぞれの活動拠点で集めた募金も含め、すべて『東日本大震災障がい者スポーツ義援金』(事務局：福島県障害者スポー

ツ協会)に寄付しました。同義援金では、競技用車いすなどの購入支援が行なわれています。また、配分委員会には本会を代表して、会長が参加しています。



©Isao HORIKIRI



©Isao HORIKIRI



福島障害者スポーツ協会行事への訪問

8月・9月には福島県障がい者スポーツ協会が主催している事業である全国障害者スポーツ大会の強化練習会に会長の河合純一(水泳)、理事の福留史郎(陸上)が参加しました。

選手たちと一緒に汗をかいたり、適宜アドバイスを行なうなど、スポー

ツを愛する者としての連帯感が醸成されていきました。

PAJでは、講演会という形式だけにとらわれず、一緒になってスポーツができるイベントにも積極的に関わっていきたくと思います。お気軽にご相談ください。

その他の活動

被災地への炊き出しボランティア(4月)やスポーツ教室、JOCオリンピック

クコンサートへの参加など、多くの会員が積極的に支援活動に取り組みました。



【3】JOCとの連携

アジアアスリートフォーラム

7月12日、日本体育協会100周年記念事業の一環としてアジアアスリートフォーラム(主催:JOCアスリート専門部会)が東京で開催されました。「アスリート発、スポーツの力」をテーマに、オリンピック・パラリンピアンがスピーチ、ディスカッションを行ないました。IOCアスリート委員長のフレデリック氏(ナミビア/陸上)、OCAアスリート委員のヤンヤン氏(中国/スケートショー

トトラック)の講演に続き、ハンマー投げの室伏広治選手、スピードスケートの清水宏保氏、そして本会からは理事の佐藤真海(陸上)、田口亜希(射撃)が登壇しました。二人はパラリンピアンだからこそ伝えられるスポーツの力について、英語で熱く聴衆に語り掛けました。

当日の講演内容を記録したDVDがあります。貸出を希望される方は、事務局までメールでご相談ください。



©AFLO



©AFLO

JOCアスリート専門部会へのオブザーバー参加

JOC(日本オリンピック委員会)が公益財団法人として新たにスタートしたことにより、アスリート専門部会にオブザーバーとしてパラリンピアン3名(河合純一/大日方邦子/根木慎志)が参加しています。議題はアジアアスリートフォーラムの運営やオリンピックコン

サートへの協力、IOCアスリート委員選挙、オリンピック研修会、2020東京オリンピック・パラリンピック招致活動への貢献などです。

オリンピック競技との連携・協働には、まだまだ行政の壁や社会的な理解も含めてたいへんなことが多いと感じられてい

るかと思いますが、アスリート間では障壁が低くなってきていることを実感しています。こういった感覚を1人でも多くの会員の皆さんにお届けできるよう情報発信に努めていきます。

東京2020オリンピック・パラリンピック招致活動への参加

9月に招致委員会が発足いたしました。パラリンピアンとしては、会員である成田まゆみ(水泳)が理事として活躍しています。今後、いろいろな形での協力依頼があると思いますが、2020年に東京で

オリンピック・パラリンピックが開催できるよう本会としても取り組んで参りませぬ。積極的なご参加よろしくお願ひしませぬ。



【4】スポーツ基本計画策定への関わり

文科省中教審「スポーツ青少年分科会」への委員としての関わり

文部科学省の諮問機関である中央教育審議会の分科会の一つ「スポーツ・青少年分科会」の臨時委員として2011年4月から副会長の大日方邦子が活動しています。この分科会では「スポーツの振興に関する重要事項」を所掌しています。

分科会に設置された「スポーツ推進に関する特別委員会」では、8月に施行されたスポーツ基本法に基づいた「スポーツ基本計画」を策定中です。基本計画の策定に委員としてパラリンピアンが関わるのは初めてのことです。スポーツ基本法

では障害者のスポーツについても触れられており、2012年3月に大臣に答申する基本計画の中では、パラリンピックを含む障害者スポーツについても言及されるべく、委員会での積極的な情報提供と意見発表を行なっています。

スポーツの推進に関する特別委員会ヒアリングにて意見陳述

基本計画策定にあたり、特別委員会において、スポーツ関係団体へのヒアリングが実施されました。障害者スポーツ関係からは日本障害者スポーツ協会と本会がそれぞれ、意見を述べました。本会からは理事の佐藤真海を中心に「スポーツ基本計画への提言」をまとめて発表しま

した。我々が提示した資料、データを始めて目にする委員がほとんどで障害者スポーツ、とりわけパラリンピックを目指す選手たちの実情を知っていただく機会となりました。

また、国会議員の先生方で組織されているパラリンピック推進議員連盟の総会

にも出席、直接パラリンピアンに置かれている現状をお伝えすることができました。

活動を通じ、厚生労働省でパラリンピックを所轄している部局との連携が取れるようになり、直接意見交換を重ねています。

PAJからのお願い

- ・PAJは毎月2回メルマガを発行しています。本会の活動を知る手段としてご活用ください。
- ・PAJはパラリンピック出場経験者(パラリンピアン)の選手会です。多くのパラリンピアンの入会をお待ちしています。競技団体に所属または関係のあるパラリンピアンをご紹介ください。皆さまの身近にパラリンピアンはいらっしゃいませんか?

日本パラリンピアンズ協会(PAJ)事務局

〒145-0073 東京都品川区上大崎3-5-1

YKビル2階 しょうの治療院 内

TEL: 03-6277-0160 FAX: 03-5773-4747 MAIL: pajoffice@yahoo.co.jp

